

研究実施のお知らせ

2021年2月 15日 ver.1.0

研究課題名

切開部位が異なる線維柱帯切開術の効果の検討

Efficacy and safety outcomes in inferior versus superior gonioscopy-assisted
transluminal trabeculotomy

研究の対象となる方

2018年4月以降に当院で線維柱帯切開術を施行され、術後1年以上の経過観察をされた方

研究の目的・意義

緑内障は本邦における視覚障害原因第1位の疾患で世界的にも患者数が増えています。線維柱帯切開術は緑内障に対して行われる眼圧下降手術の一つです。線維柱帯切開術では術式・術者により90度から360度の範囲で線維柱帯を切開しますが、切開の範囲と効果の関係については十分ではありません。本研究では、線維柱帯切開術の切開範囲と効果の関係を、日本・カナダ・トルコの病院で行われた治療結果から明らかにすることを目的としています。

研究の方法

年齢・性と緑内障に関する病気の状態（視力、眼圧、視野、眼底、隅角、使用薬剤など）、手術の術式と合併症の有無など、眼科検査で得られた情報について電子カルテの記載から調査します。調査した項目はエクセルのデータシートに記載します。データシートは電子メールでカナダの Prism Eye Institute の Jeb Ong 医師に送付し、他の施設から得られたデータと共に緑内障手術の効果と安全性を評価する為の統計解析に利用されます。データ提供の際には研究特有の ID 番号を付けて送付し、送付先で個人が特定されないように配慮します。別途、研究特有 ID 番号と個人を対応させる表を作成し、本学の研究責任者が管理します。既存の情報のみを用いる研究で有り、参加者に新たな身体的・費用負担は生じません。また、本研究への参加による謝礼はありません。研究結果は専門学会および学術誌で公表します。

研究の期間

2021年1月7日～2021年8月1日

研究組織

この研究は次の機関が参加して行います。

研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）：

Dept of Ophthalmol&Vision Sciences, Univ of Toronto Yuri Chaban

参加研究機関

[研究機関]	[研究責任者]
Dept of Ophthalmol&Vision Sciences, Univ of Toronto	Iqbal Ike Ahmed
Prism Eye Institute	Jeb Ong
Dept of Ophthalmol, Meir Medical Center	Avner Belkin
Cumming School of Medicine	Derek Waldner

情報提供機関

[提供機関]	[担当者]
島根大学医学部眼科学講座	谷戸正樹
京都府立医科大学眼科	森 和彦
Cloudbreak Eye Care	Patrick Geel Gooi
Kensington Eye Institute	Anne Lambert
Prism Eye Institute, Oakville	Ronaldo Santiago
Gazi University Faculty of Medicine	Zeynep Aktas

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出はいつでもできますが、解析・結果の公表を行ったのちは、情報を削除することができません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278